会　報　ま　な　び　　ＮＯ．１７

富山県生涯学習インストラクターの会

平成２４年７月発行

◆平成24年度を迎えて

会長　　長谷川益雄

旧年中は会員の皆様におかれましては、ご健勝で各々の分野で大いにご活躍のことと
お慶び申し上げます。
さて、本会も平成１６年１２月設立以来、会員の皆様の温かいご支援とご協力により、年々
着実な前進を図り、相応の成果を挙げて参りました。
しかしながら、昨今は会員の高齢化や会員の減少が顕著で、活動内容のマンネリ化とも
相俟ってやや活動の行き詰まり傾向が見られるように思います。
つきまして、今年度からは、（１）公開講座を中心とした行事の開催、（２）会員相互の交流
活動の積極的な展開、（３）新規会員の募集活動を重点とした活動に、意欲的に取り組んで
いく所存であります。
もちろん、従来から実施してきました内容につきましても、引続き実施して参りますので、
従来にもまして会員の皆様の力強いご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。
終わりに皆様方の益々のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げご挨拶といたします。

◆公開講座の報告（平成22年10月開催の記録）

平成２２年１０月２４日(日)富山駅前ＣｉＣビルで、「親子で楽しもう、富山の民話とものづくり」の公開講座を開催しました。当日は小学校４年生の女の子と祖母の１組を始め一般・会員合わせて約２０名参加されました。

（１）先ず初めに、坂林　彰さんの指導で、「簡単なおもちゃづくり」をしました。

（イ）「割りばしクルンコ」

（ロ）紙コップで「コケコッコ」を作りました。

坂林さんの絶妙なトークを交えての楽しいおもちゃづくりで、参加者から非常に楽しく面白かったと大好評でした。

（２）次に、奥井悦子さんの「富山の民話」の語りでした。

（イ）「琴三味線」のお話

京都の旅行先で偶然隣り合わせになった城端と高岡の人が、自慢話からつい自慢の花を見せる約束をしたが、見せることができず、紙に書いた文字（ことしゃみせん）でごまかしたという話（ウソはいけません）

（ロ）「石くらの地蔵さん」のお話

富山市のイタチ川にある地蔵さんから、湧き出る名水の話

奥井さんの聞く人を引き込ませずにおけない語り口で、参加の皆さんも熱心に聴かれ中にはしっかりメモをとる人もおられました。

（３）最後は、穴井純子さんの「アイロンでプチデコしよう」でした。
穴井さんが持参された、布、下絵、アイロンを利用して、布の上に思い思いに自由に切った下絵をのせ、アイロンをあててプリントしていくものでした。
アートセンスも必要でしたが、皆さん大満足の様子でした。

（４）当日は、写真コーナーを設け皆さんに観て頂きました。
・日本の美しい風景（会員、谷村英夫さん撮影ほか）

■この企画は、当会の主催、後援　富山県教育委員会。当日の様子は富山新聞で報道されました。

◆「新春の集い」開催　（平成 23 年１月の記録）

平成２３年１月１７日（月）当会初の試みとして、富山駅前 CiC ビルにおいて、会員の新年初顔合わせ「新春の集い」を開催しました。
１０名程の参加でしたが、コーヒー＆ケーキーで、交流と有意義な意見交換ができました。
今後とも継続して実施していくこととしました。

◆平成 23 年度・定期総会の開催

平成２３年４月１０日（日）午後２時から開催
・出席者１０名、委任状１２名、総会は成立し、賛成多数で承認可決されました。
・ホームページの作成と四季に一本、主な行事を展開する事としました。

◆会員の活動状況調査（平成 23 年５月実施）

平成２３年度の会員の現況調査を行い、会員各位に結果をお知らせいたしました。
改めて会員の皆様の状況が知れると共に、今後の活動のお役に立てたのではないかと思っております。

（１）新たな会員名簿の作成と配布
（２）会員の得意分野、専門分野、一覧表の作成と配布
（３）会員の活動計画予定表の作成と配布

◆樂集会の開催（平成 23 年１０月）

平成 23 年 10 月２日〔日〕入善町の「バーデン明日」で開催致しました。
当日は、県内各地で運動会が開催されたこともあり、参加者がやや少なかったのですが温泉で疲れを癒し、昼食でお腹を満たした後、箏の歴史などのお話と生演奏を身近で聴講でき、日本の文化を堪能し充実したひと時を過ごしました。

・講師：植木　久市さん（当会員）、全国邦楽指導者協議会・箏曲大師範。
・お話・・・「琴」と「箏」の違い、雅楽の輸入について、琴の歴史、琴の流派について（山田流、生田流）、琴の材質（桐で会津が一番）について解説された後、現在の琴と古代の琴を実際に見せて頂き、その後、実際に“越殿樂歌詞”を